

北海道新幹線に係る緊急要望等について

1 北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の建設工事に関する緊急要望について

開業の遅れに伴う道内への影響を最小限のものとするため、国による影響の把握と、最小化に向けた対応の検討を求める緊急要望を、沿線自治体や経済界などによるオール北海道で実施。

- (1) 日時・場所 : 令和7年4月4日（金） 17:00～17:15 國土交通大臣室
- (2) 出席者 : 道知事、道議会議長、道商連会頭、札幌市長ほか5首長、道議会 新幹線・総合交通体系対策特別委員会 副委員長
- (3) 要望書 : 別紙1のとおり
- (4) 開催結果（主な発言）

北海道（鈴木知事）

- 札幌開業は道民の悲願、完成・開業が大幅に遅れることは、にわかに受け入れられるものではなく、開業時期が示されなかつたことについても、極めて遺憾。
- 様々な分野に甚大な影響を及ぼすことを懸念。

北海道議会（富原議長）

- この度の2038年度+ α は衝撃が大きい。影響の把握と対策の部分は、政策ページの中で対応してほしい。

札幌市（秋元市長）

- 開業の遅れで、観光やインバウンド等の人の流れの面でも本来の効果が薄れる。一日も早い完成を目指すことはもちろん、本来得られる経済効果の発現が遅れるということに対して、その影響を最小限に抑えてほしい。
- 事業期間延長により、新たな財源措置などの措置を講じてほしい。

北海道商工会議所連合会（岩田会頭）

- 逸失利益を最小限に踏みとどめなければいけない。
- 商工会議所では、北海道だけでなく東北と一緒にになって要望してきており、東北や北関東との交流にあっても大きな損失。

國土交通省（中野大臣）

- 今回の開業時期の見通しは、私自身も大変重く受け止めている。
- 私から鉄道局と鉄道・運輸機構に対し以下3点を指示。
 - ・今後の見通しを沿線自治体の関係者に丁寧かつ速やかに説明を行い、隨時、情報共有すること
 - ・トンネル貫通に一定の目途が立った段階で全体工程を精査すること
 - ・沿線自治体の関係者と我々一丸で一日も早い完成・開業を目指すこと
- 各方面への影響は、北海道新幹線札幌延伸推進会議等で、具体的な要望等を伺ってまいりたい。

2 北海道新幹線札幌延伸特別対策室の設置について

別紙2のとおり

3 今後の対応

影響の最小化に向け、北海道新幹線札幌延伸特別対策室を活用し、開業の遅れに伴う影響の把握と対応を検討するなど、関係者一丸となって取り組んでまいります。